| 学校番号 | ２０２ |
|---|---|

# 令和５年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 国語表現 | 単位数 | ２単位 | 年次 | ３年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 「国語表現　改訂版」（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 「三訂版　国語必携パーフェクト演習」（尚文出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ

・作文や常識練習など作業の多い科目です。休まず、遅刻せずにこつこつがんばりましょう。
・真面目な取り組みを評価します。国語常識を身につけて、文章を書くことが苦手な人でも進路実現に役立つ文章能力をつけてもらうのが目的の科目です。
・予習は必要ありませんが、授業の後には内容を振り返って復習してください。
・提出物の期限は守りましょう。定期考査は学習計画を立てて臨んでください。

## 2　学習の到達目標

・国語常識を身につけて、的確な表現の文章が書けるようにする。
・目的や場にふさわしい語句を選んで、適切に考えを表現することができる。
・目的や場に応じた文章の内容や構成を、的確に理解することができる。
・言語感覚を磨き、論理的な思考力、豊かな想像力を場面に応じて活用することができる。

## 3　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:話す・聞く能力 | c:書く能力 | d:読む能力 | e:知識・理解 |
|---|---|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 国語で伝え合う力を進んで高めている。 | 目的や場に応じて効果的に話し、的確に聞き取ったり、話し合ったりして、自分の考えをまとめ、深めている。 | 相手や目的、意図に応じた適切な表現による文章を書き、自分の考えをまとめ、深めている。 | | 現代社会における様々な問題についての知識を身に付けている。また、漢字・語彙・用法などについて理解し、知識を身に付けている。 |
| 主たる評価方法 | 行動の観察<br>記述の点検<br>（作業プリント・作文等） | 行動の観察<br>（発表等のパフォーマンスの評価） | 記述の確認及び分析<br>（作業プリント・作文等） | | 定期考査 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４ 学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | | | 単元（題材）の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | d | e | | |
| 1学期 | 分かりやすい文章 | 書いて伝える | ○ | | ◎ | | ○ | a，e：分かりやすい文章とはどういう文章か理解する。<br>c：主述の呼応した、分かりやすい文章が書けているか。文体を統一し、ねじれのない文章が書けているか。作文用紙の使い方は適切か。 | ・授業態度 a, e<br>・発問評価 a, e<br>・課題の提出 c |
| | 自分を見つめる | 自己ＰＲと面接 | ○ | | ◎ | | ○ | a，e：自己分析から自分の個性を客観的にみているか。<br>c：自己ＰＲ文を実際に書き、よりよい表現を見つけているか。 | ・授業態度 a, e<br>・発問評価 a, e<br>・課題の提出 c<br>・定期考査 c, e |
| 2学期 | 考えを深める | 小論文<br>レポート入門 | ○ | ◎ | ○ | | ○ | a，e：読み取った主張に対し、自己の考えを持っているか。<br>b，c：話を聞いたり、文章を読んだり、グラフを見て、主張を的確に理解し、要約できているか。 | ・授業態度 a, e<br>・発問評価 a, b, e<br>・課題の提出 b, c |
| | 表現力を身につける | 会話・議論・発表 | ○ | ◎ | ○ | | ○ | a，b，c：聞き手にとってわかりやすい表現がどんなものかを実感し、理想の表現に近づけているか。<br>e：自分の考えを文章の形にする方法を知り、使いこなせているか。 | ・授業態度 a, e<br>・発問評価 a, b, e<br>・課題の提出 b, c<br>・定期考査 c, e |
| 3学期 | 将来を考える | 表現を楽しむ | ○ | | ◎ | | ○ | a，e：自分の将来について、しっかりと考えているか。<br>c：お礼や近況報告を、手紙の形式で書けているか。 | ・授業態度 a, e<br>・発問評価 a, e<br>・課題の提出 c |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　b:話す・聞く能力　c:書く能力
d:読む能力　e:知識・理解

※　評価の観点のうち「関心・意欲・態度」と「知識・理解」については、すべての単元に位置付けて○印を、また、その単元で主として扱う国語の領域に関わる観点には◎を付している。